

歴代須賀川市長



◎6代◎  
相楽新平  
平8.8.11～平20.8.10



◎5代◎  
高木 博  
昭59.5.10～平8.6.29



◎3代◎  
鈴木貞夫  
昭39.5.10～昭47.5.9



◎2代・4代◎  
澤田三郎  
昭31.5.10～昭39.5.9  
昭47.5.10～昭59.5.9



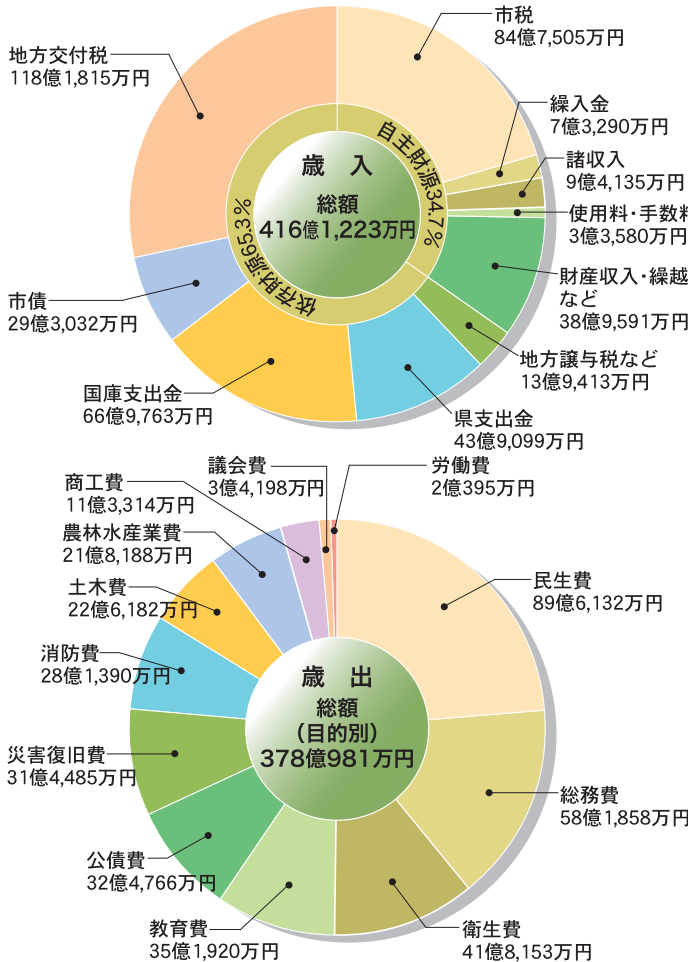
◎初代◎  
岡部宗城  
昭29.4.27～昭31.4.8

歴代須賀川市議会正副議長

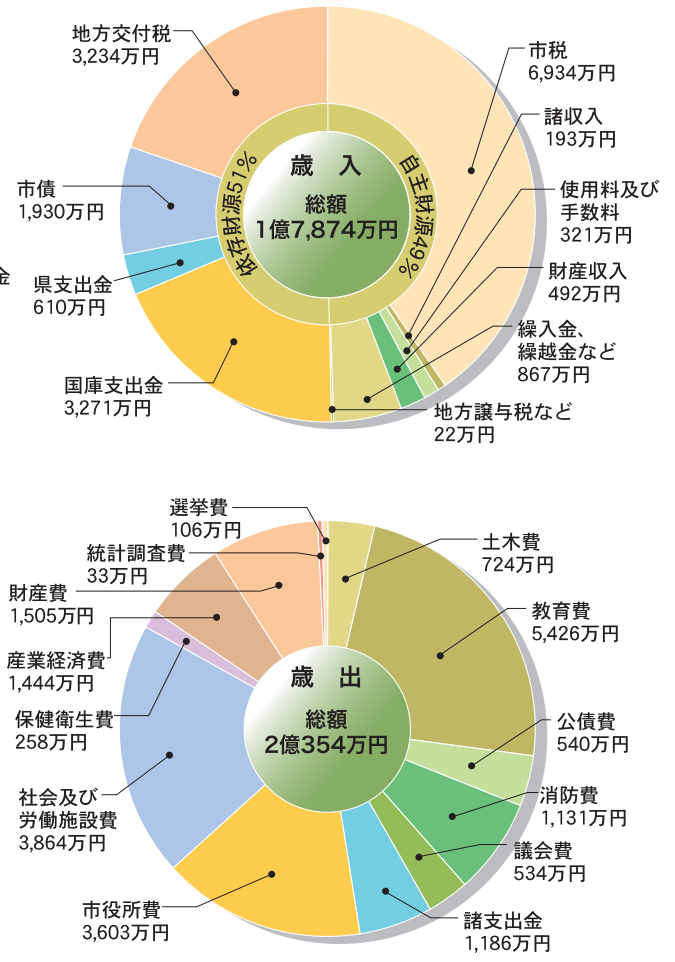
初代	樽川久松	昭29.4.4	昭30.3.30
2代	安田平七	昭30.4.4	昭30.3.30
3代	鈴木正雄	昭34.4.9	昭38.3.30
4代	橋本平男	昭38.3.30	昭42.3.30
5代	山下淡童	昭42.3.30	昭46.4.4
6代	森 新二	昭46.4.4	昭50.4.4
7代	遠藤輝雄	昭50.4.4	昭54.4.4
8代	堀川正二	昭54.4.4	昭58.4.4
9代	有馬 博	昭58.4.4	昭62.4.4
10代	深谷一由	昭62.4.4	昭66.4.4
11代	添田勝人	平1.3.3	昭3.3.3
12代	阿部和寿	平3.5.4	昭5.4.4
13代	岡谷久則	平5.5.5	昭7.4.4
14代	関根吉郎	平7.5.10	昭9.4.4
15代	宗形充三	平9.5.10	昭11.4.4
16代	宗形充三	平11.5.10	昭13.4.4
17代	水野敏夫	平13.5.10	昭15.4.4
18代	水野敏夫	平15.5.10	昭17.4.4
19代	水野敏夫	平17.5.10	昭19.4.4
20代	菊地忠男	平19.5.10	昭21.4.4
21代	村山廣嗣	平21.5.10	昭23.4.4
22代	森 新男	平23.5.10	昭25.4.4
23代	鈴木正勝	平25.5.10	昭27.4.4

◎議長	初代	柳沼甚四郎	昭29.4.3	昭30.3.30
	2代	佐藤市朗	昭30.4.7	昭34.3.30
	3代	羽田徳太郎	昭34.4.9	昭38.3.30
	4代	三浦 一	昭38.5.7	昭42.3.30
	5代	服部三寿	昭42.5.4	昭46.4.4
	6代	服部三寿	昭46.4.4	昭50.4.4
	7代	山下淡童	昭50.4.4	昭54.4.4
	8代	斎藤種平	昭54.4.4	昭58.4.4
	9代	斎藤 明	昭58.4.4	昭62.4.4
	10代	斎藤 明	昭62.4.4	昭66.4.4
	11代	森 新二	平3.3.3	昭5.4.4
	12代	森 新二	平5.4.4	昭7.4.4
	13代	深谷一由	平7.4.4	昭9.4.4
	14代	西間木寅吉	平9.4.4	昭11.4.4
	15代	添田勝人	平11.4.4	昭13.4.4
	16代	添田勝人	平13.4.4	昭15.4.4
	17代	高橋秀勝	平15.4.4	昭17.4.4
	18代	高橋秀勝	平17.4.4	昭19.4.4
	19代	高橋秀勝	平19.4.4	昭21.4.4
	20代	大越 彰	平21.4.4	昭23.4.4
	21代	渡辺忠次	平23.4.4	昭25.4.4
	22代	鈴木忠夫	平25.4.4	昭27.4.4
	23代	市村喜雄	平27.4.4	昭29.4.4

平成24年度一般会計歳入歳出決算額



昭和29年度一般会計歳入歳出決算額



発刊のことば

## 輝く未来にともに歩むわがまち須賀川

昭和29年3月31日に5町村が合併し、須賀川市として市制を施行して以来、今年で60周年を迎えます。

顧みると、乙字ヶ滝遺跡から出土した旧石器は、はるか古からこの地が要衝として栄えていた証であり、420余年の歴史ある「松明あかし」は、城下町として栄えていたそれまでの時代を思い起こさせます。また、江戸時代は、奥州街道屈指の宿場町として、そして町人の自治によって発展して参りました。

脈々と先人各位が築きあげてきた礎は、本市にとってかけがえのない財産であり、市民の皆様が須賀川に抱く愛着や誇りとなって、現代に受け継がれ、未来へと大きく育てられ、新たな須賀川の個性を紡いでいきます。

今年の4月には、平成17年の平成の大合併により3市町村が一緒になった新生須賀川市が誕生してから10年目を迎えます。60周年ともども「新たな時代の幕開け」となる記念すべき節目の年となりますが、本市は現在、東日本大震災や原子力災害からの復旧・復興の真っただ中にあります。この先何年か後に、本市の歴史を振り返った時、この数年間の出来事は、これまで60年の歴史の密度に匹敵する大きな変化をもたらすものとなるでしょう。だからこそ、私たちは今、「自治のまち須賀川」の誇りを、心の糧として、子どもたちが、将来とも「住んで良かった、住み続けたい」と心から思える魅力あふれるふるさと須賀川を目指し、強い絆で結ばれた「協働」の理念を基本として、時代の潮流を見据えながら、新たな時代のステージへ歩み進んでいかねばなりません。

こうした思いを込めて、先人各位が英知や情熱を結集し、営々と築いてきた尊い歩みを振り返るとともに、未来への道標として記念誌をここに発刊いたしました。本市の発展にご尽力いただきました皆様に、改めて敬意を表するとともに、従来にも増して市勢発展のためにご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年3月28日



須賀川市長  
橋本 克也



2013

◎発行日◎

平成26年3月28日

◎編集◎

福島県須賀川市

〒962-8601 福島県須賀川市八幡町135番地

電話 0248-75-1111(代)



この記念誌は、再生紙を使用しています。